

認知症の人と家族の「空白の期間」を満たされた期間にするための冊子



診断や支援を拒む方、そしてご家族へ（絵本のような冊子）

もしも

気になるようでしたらお読みください

違和感を覚えている人が、自分で病院や地域包括支援センターに行こうと思えるように、認知症という言葉をできるだけ使わない絵本のような冊子を作りました。（B5カラー 45ページ）

認知症も診断されたときから始まるのではありません。認知症かそうでないかは実際には線引きはできません。あなたの人生を自然に歩むことが大切です。少しの工夫と助けを使って。あなたが、病院に行くのは認知症の診断のためではありません。自分らしく生きるためにヒントをみつけるためです。（本文より抜粋）



認知症の人とご家族へ（認知症カフェ啓発リーフレット）

私たちの認知症カフェ

認知症の診断直後の方、またご家族に専門職の皆さんからお渡しください。

認知症カフェとは何か？ 認知症カフェとサロンの違いを簡単にわかりやすく紹介したリーフレットです。

（A4カラー 4ページ）



認知症カフェの企画運営をする方へ（認知症カフェ事例集）

よくわかる！ 地域が広がる認知症カフェ

～地域性や人口規模の事例から～

認知症カフェは、始めることが大変だとされています。集合団地で、高齢化率が高い地域で、人口が少ない地域で、施設でetc どのように運営して継続しているのかを特徴別に19事例を紹介しています。（A4カラー 95ページ）



こちらより
全文ダウンロードすることができます。

パソコンでは、

DC-NET もしも認知症

検索

と検索してください。

平成30年度老人保健健康増進等事業

認知症カフェを活用した高齢者の社会参加促進に関する調査研究事業

認知症の人の家族等介護者への効果的な支援のあり方に関する研究事業

作成者／問合せ先

認知症介護研究・研修仙台センター

〒989-3201 仙台市青葉区国見ヶ丘6丁目149-1

TEL. 022-303-7550 <http://www.dcnet.gr.jp/> 担当：矢吹、工藤